

岩手県印刷工業組合

岩手の印刷

第82号 / 平成30年3月28日
発行所 / 岩手県印刷工業組合
〒020-0122
岩手県盛岡市みたけ5丁目17-10
TEL.019-641-4483
FAX.019-641-6103
E-mail kumiai@iwate-print.net
URL <http://www.iwate-print.net/>
発行人 / 斎藤 誠

vol. **82**
2018.3

(ホームページ上でも閲覧できます)

CONTENTS

新年交賀会	2
平成29年度	
下期東北地区印刷協議会報告	3
藤井治夫会長挨拶	3
分科会報告・協議事項	3
トピックス	10



雫石園地の桜並木 (雫石町)

平成30年 岩手県印刷工業組合新年交賀会

1月19日(金)花巻温泉「ホテル千秋閣」において、岩手県印刷工業組合の新年交賀会が開催されました。交賀会に先立って行われた全員協議会には21名が参加、その後、「働き方改革について」をテーマにセミナーが開催されました。講師は(株)あしたのチーム仙台支社支社長・東田信也氏で、41名の方が熱心に聴講されました。そして、セミナー終了後に開宴された新年交賀会では参加者55名が親睦を深めました。



❖日 時/平成30年1月19日(金) 12:00～ ❖場 所/花巻温泉 「ホテル千秋閣」

❖日 程/ *常任理事会 11:30～12:00 <<3F 305>>
 *昼 食 12:00～13:00 <<2F ローズダイニング>>
 *全員協議会 13:10～14:30 <<3F オーキッド>>
 (理事会)

報告事項 1. 原材料値上げによる要請文について
 2. ILC年賀はがきについて
 3. DTP技能検定試験について
 4. 古紙回収収益金寄付について
 5. 各支部報告
 6. MUDセミナー開催のお知らせ
 7. 庶務事項

議 題 1. 官公需における知的財産権の取扱いについて
 2. その他(手づくり村書籍販売について)

*セミナー 14:45～16:45 <<1F 瑞雲の間>>
 セミナー名「働き方改革」について
 —エンゲージメント向上を実現する「あしたの人事評価」—
 講 師 東田 信也氏 株式会社あしたのチーム 仙台支社支社長
 *新年交賀会 18:00～20:00 <<2F 亀祥の間>>

【講師プロフィール】

講師 ^{ひがしだ} ^{しんや} 東田 信也氏 株式会社あしたのチーム 仙台支社長



- 東京都生まれ。東京都立大学卒業後、人材開発の研修会社に入社。
- 個人、法人向け営業に加え、代理店教育、研修講師として人事領域に携わる。「研修だけの教育」に限界を感じる中、会社の仕組みの中で人材を育成するあしたのチーム社の人事評価制度に出会い、大きな可能性を感じ、2015年あしたのチーム社に入社。
- 認定コンサルタントの資格を取得し、2016年仙台支社長に就任。現在、東北エリアを中心に人事評価制度の構築、運用支援を行っている。これまで70社以上の人事評価制度運用支援の実績を持つ。

平成29年度 下期東北地区印刷協議会

- ◆開催日時 平成30年2月15日(木) 13:00～
- ◆開催場所 仙台市青葉区本町「パレスへいあん」
- ◆参加者 東北六県役員・来賓・その他66名
 (岩手県から、理事長、各委員長6名、副委員長1名、事務局の総勢9名が参加)



I. 全体会議

藤井治夫 東北地区協会長挨拶

東北各地からご参集いただき、有難うございます。全印工連からは、滝澤光正副会長、生井義三専務理事、三島秀夫常務理事のご臨席を頂いております。アベノミクスがスタートし、6年目になります。大企業を中心として好決算が予想され、税収アップが見込まれるなど、その効果が表れているのも事実です。しかし、私たち中小企業には、なかなかその効果が届いていないのも事実であります。経済は、物・金などの循環を基本としており、いずれ中小企業への波及を期待しております。さて、官公需取引についてです。昨年7月に「平成29年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」が閣議決定されました。この中で、新たに講ずる主な措置として、「知的財産権の財産的価値について十分に留意した契約内容とするように努めるものとする」が加わりました。このことは、私たち業界にとって大変画期的なことであり、全印政連、中小印刷産業振興議員連盟の、日頃の活動の成果とも言えます。この全体会議の中で、全印工連官公需対策協議会の木村恵也幹事

(岩手工組副理事長)から、官公需における著作権の問題について説明がありますので、十分にご理解願いたいと思います。

今年のSOPTECとうほくは、9月28日～29日に開催致します。例年は7月上旬頃ですが、世界的な印刷機材展のIGASが、この月に開催されることから、9月としたものです。

本日、ご出席の皆様には、メーカー・ディーラー様への出展働きかけをよろしくお願い申し上げます。

年度末を迎えるにあたり、各位のご健闘を祈念いたします。

II. 分科会

理事長会

1. 藤井会長から、平成30・31年度東北地区印刷協議会会長選任について上程され、協議の結果、宮城工組次期理事長候補者の針生英一氏を選任した。
2. 平成30・31年度東北地区印刷協議会委員会担当工組の見直しについて協議した結果、下記の通りに決定した。
3. 平成30年度収支予算案について、事務局から上程さ

担当工組	H30～31担当委員会	前期委員会
山形県	経営革新マーケティング委員会	経営革新マーケティング委員会
宮城県	ソーシャルビジネス委員会	教育研修委員会
秋田県	教育研修委員会	ソーシャルビジネス委員会
青森県	環境労務委員会	環境労務委員会
福島県	組織共済委員会	組織共済委員会
岩手県	官公需対策委員会	官公需対策委員会

岩手の印刷

れた承された。

- 第15回SOPTECとうほく2018の開催概要と出展会社募集協力について、満場一致で了承された。
- 事務局から、4月10日(火)開催の「印刷人ステップアップ基礎研修会」について説明、各県工組組合員に参加案内を推進することで了承された。
- 平成30年度の上期東北地区印刷協議会は、30年6月20日(水)～6月21日(木)に秋田工組主管で開催。会場は「秋田キャッスルホテル」を予定。
なお、当日は、全印工連常務理事・経営革新マーケティング委員長の福田浩志氏(㈱ウエマツ代表取締役)による「事業継承問題」について特別講演を予定。

経営革新・マーケティング委員会

大風 亨 委員長 (山形県)

【依頼事項】

1. 事業継承支援センターの周知

事業継承支援センターが開設されてからこれまでの利用状況は、契約件数1件、問い合わせ件数が40件になっています。その中で東北は問い合わせ2件となっており、徐々に相談件数が増えています。その問い合わせの内容としては、企業提携・買収ニーズの登録が28件、相談が3件、M&A(売)の相談が5件、親族内継承の相談が3件となっています。ただ、事業継承支援センターというまだまだマイナスイメージが強く、もっとセンターを身近な存在として知っていただく必要があります。全印工連では、印刷業界のための事業継承・M&Aセミナーを開催し、2月9日の中部地区セミナーにて一通り全国での開催を終了いたしました。今後は新たな内容にて都道府県単位の開催を行って参りたいと考えていますので、その際には是非各都道府県において開催をお願いいたします。

また、全印工連ではなぜ事業継承が必要なのか、どのようにして取り組めばいいのかを理解するためのガイドブックを制作しており、5月に完成を予定しています。事例を豊富に収録し、フローチャートで自社の

状況を把握し、必要な部分を読めば自社に合った取り組み方法を知ることが出来る冊子となりますのでご利用ください。全印工連は組合員の事業継承がうまく行き、また不幸な廃業をなくし、ハッピーリタイアが出来るように活動して参りますので、今後とも事業継承センターの周知にご協力をお願いいたします。

2. 共創ネットワーク通信の配信拡大と活用

自社の有益な印刷・デザイン技術・機械・営業ツールなどの情報を全国の組合員に発信する共創ネットワーク通信は、リニューアルによって情報の登録がより手軽になりました。また、今期メルマガがカラー化され従前より見やすく・分かりやすいものになりました。ホームページに検索機能も付与され、仕事を頼みたい時のデータベースとしても活用できます。自社のホームページの代わりにもなりますし、同業者や異業種の方にPRできる絶好のチャンスです。「一度登録したけど、なんの反応もなかった」と言われる方も、是非もう一度登録していただきますようお願いいたします。

【協議事項】

1. 事業継承推進における課題について

東北各県の事業継承の状況は、人知れず廃業や倒産をする組合員が少なくないようです。また、その組合員のお客様については自然に他の印刷会社に流れていきますが、その印刷物の値段はとて安く、引き受けることが出来ないものになっています。現在、先行き不安な印刷業を継続するよりも、後継者が違う道に進む組合員や、現状の設備が壊れたら更新しないで廃業したいという組合員も潜在的にかなり多くいるようです。

事業継承は、同じ地域の印工組に相談するよりも、銀行や税理士等に相談するケースが多くなっていますが、全印工連ではしっかりと秘密をお守りする事業継承センターをご活用いただき、組合員・従業員・お客様が不幸にならないようにして参りますので、より多くの組合員に周知をお願いいたします。また、事業継承

支援センターの情報について、各県印工組の理事までしか伝わっておらず、すべての組合員に伝わっていないようです。分科会に参加された方々は、各県印工組のすべての会員に周知していただきますよう、よろしくをお願いいたします。

そして協議の中で、先行き不安な印刷業界をどのように改善するかという話し合いになり、国の推奨する「働き方改革」をしっかり進めていくべきであるということが挙げられました。優秀な人材に来てもらうため、そして優秀な人材を流出しないためには、各組合員が労働基準法を正しく学び、実践していくことが大切です。目の前に仕事があるのに、働き方改革と言って帰ってしまうのは正しい改革とは言えません。残業が日常的にならないようにするのが正しい働き方改革です。私たち組合員は正しい知識を身につけ、印刷業界が世の中の目標となるように努力することにより、より良い事業継承ができるものと確信しております。

【報告事項】

報告事項は、記載の通りです。

勝ち残り合宿セミナーは内容も充実し、大変好評でした。今回は女性の参加者も多く、これからは印刷業界も女性が活躍することを推進していかなければなりませんので、男性・女性問わず、より多くの方々にご参加いただきますようお願いいたします。

セミナーは東京開催がほとんどになりますが、大変充実した内容ですので東京にいらっしゃる時には時間を合わせていただき是非ご参加くださいますよう、よろしくをお願いいたします。

また今後、ライブ配信やDVDなど、東京に行かなくても研修を受ける手段を検討してまいります。事業継承問題がいよいよ身近な問題となってきています。事業継承センターはしっかりと秘密をお守りし、他に情報が漏えいしたりいたしませんので安心してご利用ください。そして早めの対応をお願いいたします。

ソーシャルビジネス委員会

五嶋建二 委員長 (秋田県)

【依頼事項】

- C S Rの普及・啓発のお願い
- 全印工連C S R認定事業の推進、第21期ワンスター認定募集を2月1日より4月27日まで行っております。
- 情報セキュリティー対策の推進、クラウドバックアップサービス、J P P S、マイウォッチャーの普及拡大に取り組んでいます。
- B C P (事業継続計画) 対策の推進では有事の際、従業員や家族の安全、資機材の安定供給など、業種・地域を越えた取り組みが必要です。
- メディア・ユニバーサンデザイン (M U D) 活動の

推進、第11回M U Dコンペティションの結果報告と、第12回のコンペティションへの参加募集を依頼しました。

【協議事項】

毎年2回の東北地区印刷協議会の当委員会において、ソーシャルビジネス委員会という名称のことが、各県委員から質問が出ていました。全印工連の資料はC S R推進委員会なので、合わせた方が良いのではということでした。このことから、そもそも「ソーシャルビジネス」とした経緯を宮城県工組の針生副理事長から説明を兼ねてミニ講演会をしていただくことになりました。「発注」から「創注」へと題してハリュウコミュニケーションズ(株)の取り組み事例を聞かせていただきました。何年もかけて今までになかった仕事を造り出す、単に会社だけのためではなく、地域全体、まさに「四方よし」に繋がった素晴らしい取り組みだと思いました。さて、委員会の名称についてはどちらが正しいのかの問題ではないと思いますが、90分という短い時間に結論が出ることでもありませんでした。委員の中からはC S R・ソーシャルビジネス委員会は?という案も出ていました。今後も話し合いが必要と思います。

教育・研修委員会

橋浦隆一 委員長 (宮城県)

【依頼事項】

1. 印刷営業講座・印刷営業士認定試験の開催

「セールス&プロデュース(マーケティング)」に重点を置いた内容に見直を行った印刷営業講座・印刷営業士認定試験を今年度より開催した。宮城工組、埼玉工組、長野工組、東京工組の4工組において100名以上が受講・受験する見込みである。来年度もすでに6工組より実施を検討していると全印工連では確認している。開催にあたっては、日程を講師と調整する必要があるため、実施または実施を検討される工組は早めの連絡をお願いする。

また、講座・試験を実施される際には、可能であれば近隣の工組にも開催案内を送ってもらい、多くの都道府県より受講・受験者が出るよう、ご協力いただきたい。

【意見交換】

- *これまでの印刷営業士と比べて合格率があまりにも低く、同じ名称・同じ資格として実施されていることに違和感がある。(多数意見)
- *東京から離れているほど、講師の旅費等も高額になり、また地方の工組は参加見込みも少ないので、実施に慎重にならざるを得ない。(青森)
- *他工組の収支や実施状況を見ながら、中期的には実施する方向で検討したいので、情報交換を期待した

MITSUBISHI PAPER MILLS LIMITED
高品質サーマルCTP
MADIATH
水現像CTPプレートセッター
VIOLET DIGIPLATE
VDP-CP3070

宮城県仙台市宮城野区宮城野1-11-1ダイヤミックビル4F
仙台支店 ☎022(296)3221

ダイヤミック株式会社

そこに
宿るのは、
リコーの情熱と
誇りのすべて。

RICOH
imagine. change.

多品種・小ロット・短納期への対応はもちろん、
新たな付加価値の提供や顧客への
ワン・トゥ・ワンでの対応など
印刷ビジネスに求められるニーズは多様化。
ビジネスを支える生産財として、よりハイスペックな
デジタル印刷機が求められています。
リコーの技術を結集したフラッグシップモデル
「RICOH Pro C9110/C9100」。
この一台が、お客様のビジネスを成功へと導きます。

RICOH Pro C9110/C9100

※写真はRICOH Pro C9110に
オプションを装着したものです。

産業ソリューション事業本部 東北グループ 仙台市青葉区五橋1-5-3 TEL:022-726-3333
リコージャパン株式会社 岩手支社 岩手県盛岡市本宮3-36-45 TEL:019-631-2211

岩手の印刷

- い。(岩手)
2. 全印工連特別ライセンスプログラムの随時募集

今年度から全印工連特別ライセンスプログラムの周知・普及を教育研修委員会が行っている。来年度も引き続き各工組における特別ライセンスプログラムの契約数を増やすために、ご協力をいただきたい。

特別ライセンスプログラムは adobeCC を通常価格より安く購入できる上、フォトショップ、イラストレーター、インデザインと使用頻度の高いアプリのみの特別プランをさらに低価格で利用できることが強みである。

興味のある方は気軽に全印工連に問い合わせをしていただきたい。

また、今年度は東京、大阪、愛知でテクニカルセミナーのほかに、長崎、宮城、長野、沖縄の 4 工組で周知・普及セミナーが開催された。周知・普及セミナーでは、最新版 C C のアップデート内容やソフトウェアの活用方法、特別ライセンスプログラムの説明のほか、利用者からの質疑応答が行われる。講師料・講師交通費の負担はなく、会場費は 5 万円まで全印工連が負担する上、特別ライセンスプログラムの利用を問わず参加できるので、是非セミナー開催も工組で検討していただきたい。

3. 総合求人サイト「イーアイデム」組員向け特別プランの周知

上期地区協でご説明した、株式会社アイデムのインターネット総合求人サイト『イーアイデム』の組員向け特別プランが昨年 11 月からスタートした。東京のほかに滋賀、大阪、岡山、香川の組員にも既にご利用いただいている。

別添チラシのとおり、特別プランの概要は、掲載できる画像数や内容量によって異なり、ハイグレードプランとスタンダードプランを通常の 6 割引の価格で利用できるというものである。求人掲載の依頼を受けると、アイデムの営業拠点のある地域は担当者が写真撮影等の取材に訪れるが、営業拠点のない地域は、メールでのやり取りで求人内容を編集することになる。

チラシ上の Q R コードまたは U R L から特設ページに入れるようになっている。入力フォームの記入例もあり、申し込みは簡単にできるので組員は積極的に利用してもらいたい。

【協議事項】

1. 技能検定制版職種 D T P 作業の受検者増に向けた取り組みについて
- 今年度の技能検定制版職種 D T P 作業には、20 工組 195 名から受験申請があった。すでに実施されている工組には来年度も引き続き実施をお願いしたい。
- 現在、厚生労働省は人材開発支援助成金（旧キャリ

ア形成促進助成金）として従業員を受検させ合格した場合、制度導入助成として 47. 5 万円（生産性要件を満たす場合 60 万円）の助成金を得ることができる。「技能検定制版職種 D T P 作業の受検者増に向けた取り組み」を設けている。詳細については厚生労働省の H P で確認をお願いする。また、昨年度からの 35 歳未満の若年者を対象とした、実技試験受験料の最大 9,000 円の減免措置もあるので、ご活用いただきたい。

来年度以降も、学科試験対策セミナーの開催、実技・技能試験問題の過去問題を各工組に配付を行い、受験者のフォローアップを行う予定であるので、過去問題配付をご希望であれば、全印工連へご連絡いただきたい。

また、大塚商会の協力により、全国の大塚商会の P C スクール会場を実技試験会場として使用できるようになっている。実技試験会場の確保が問題になっている工組において、会場候補の一つとしてご活用いただきたい。

全印工連では、平成 27 年に技能検定の実施要領を作成し各工組へ配付したが、新たな実施要領を作成している。完成後は各工組に改めて送付するので、未実施工組におかれては、要領をもとに再度実施検討をお願いしたい。

なお、今後の検定実施にあたって、他工組への技能検定制版委員の派遣や試験・採点の見学等は全印工連へお問い合わせいただきたい。全印工連が実施工組と調整し、適宜対応する体制を整えたい。

【意見交換】

*実施はしているものの、限られた会社の社員の受検にとどまっております、まだまだ周知が足りない。県工組としても取り組むが、全印工連も宣伝をお願いしたい。(青森)

*近隣の工組の協力を得ながらスムーズに実施できた。今後は、自前で検定が実施できるよう、ノウハウを積み上げていきたい。会場の都合でパソコンが 10 台程度しか使えないが、今のところたまたま足りている状況だ。(岩手)

*会社によって、取り組みにばらつきがある。特定の会社に偏らないよう、全体としての取り組みにしていける必要がある。(山形)

*試験会場の立地も良く、スムーズに実施することができた。時期的には前期実施の方が望ましい。(福島)

*今回初めての実施だったが、近隣工組の協力もあり、実施することができた。今後は検定員のスキル向上に努めたい。(宮城)

*東北では唯一実施していない状況だが、県工組としても協議の上、取り組んでいきたい。近隣の工組の協力をぜひお願いしたい。(秋田)

【要望事項】

*技能試験の過去問も配布したとのことだが、知らなかった人も多かったのではないかと。より公平な運用を期待したい。(多数意見)

*2 月の試験は繁忙期と重なり、また気象状況により交通が麻痺するリスクも高い。前期に変えることはできないか。(青森)

*せっかく実施工組の一覧表を付けていただいているので、前年度の合格実績も参考資料として付けてほしい。(岩手)

2. 未来会計図（管理会計エクセルシート）の活用について

全印工連は 11 月より、管理会計による収益改善の啓発を目的として、管理会計の認識が低い、決算書の見方が分からないといった組員を対象に作成した管理会計エクセルシート「未来会計図」を H P に掲載し、相談を受け付けている。今後は全印工連 H P の掲載ページに利用方法等を掲載し、「未来会計図」を使用した組合支援セミナーの開催も検討している。

【報告事項】

1. 技能検定「製版職種 D T P 作業」の新職種名

全印工連では、名称変更による技能検定の受検者の増加を目的として、厚生労働省へ職種名変更の要望を行った結果、厚生労働省の専門調査会員の審議を経て、職種名は「プリプレス職種」と改称されることとなった。今後、省令が改正され、平成 30 年 4 月 1 日より、「プリプレス職種」が新しい名称となり、平成 30 年後期の検定は技能検定「プリプレス職種 D T P 作業」として実施される。

2. 技能検定「製版職種 D T P 作業」の受検者数

29 年度、技能検定制版職種 D T P 作業の実施工組は、28 年度の 18 工組に宮城工組、三重工組を加えた 20 工組となり、195 名の受検申請があった。実技試験は 12 月 4 日（月）から 2 月 18 日（日）に実施され、学科試験は全国統一で 2 月 4 日（日）に実施された。合格発表は 3 月 16 日（金）である。

3. 遠隔教育システムの使用状況について

教育研修委員会では、遠隔教育システムを利用し、試行的に東京工組が開催した 4 つのセミナーの動画を配信した。そのうち 3 つは既に配信を終了しているが、1 つは現在配信中である。各動画への視聴数・平均視聴時間は別添資料のとおりである。

4. 組合支援セミナー「あしたの人事評価セミナー」実施
- 教育研修委員会が企画した「~~編~~あしたのチーム」による「働き方改革」を実現する『あしたの人事評価』セミナー」は、東京工組で 2 回、香川工組、山形工組、岩手工組で各 1 回の計 5 回開催された。来年度も引き続き組合支援セミナーとして継続する予定である。

環境・労務委員会

澤田義治 委員長（青森県）

【依頼事項】

1. 環境マネジメントシステム認証・認定の普及推進
- (1) G P（グリーンプリンティング）認定制度
- (2) 環境推進工場登録制度
- (3) 環境マネジメントシステム（I S O 14001 取得支援事業）

「日本の印刷」2 月号には、環境労務委員長・副委員長による環境労務事業への取り組みをテーマにした座談会と、各認証制度の特徴を比較した一覧が掲載されています。一つ認証を取っていれば環境への取り組みが十分というわけではありません。環境経営の推進やリスクアセスメント対策に向けて、自社に足りない項目が何かを検討しながら、各種認証制度に挑戦してみてください。

例えば、日本印刷産業連合会が運営している、環境に配慮した印刷工場を認定するグリーンプリンティング制度(G P 認定制度)は現在印刷産業全体で 382 工場、そのうち全印工連は 210 工場が認定されています。また、全印工連では G P 認定の前段階として、比較的取り組みやすい認定制度「環境推進工場」を運営しています。認定取得の申し込みと環境推進工場については、各工組での講習会実施をぜひご検討ください。東京工組主催で年 3 回開催している講習会には、他工組の組員の方も参加可能です。

また、全印工連ではインターネットを利用した環境マネジメントシステム「N et E M S」も運営しています。国際的な環境認証 I S O 14001 を安価で通常より短い期間で取得でき、マニュアルや規定の作成・保存、一部文書審査をインターネット上で行うことが可能になりますので、すでに I S O 14001 を取得されている企業におきましてもシステムの乗り換えをご検討していただき、詳しくは資料 24 ページにあります。事務局までお問い合わせください。

2. オフセット印刷工場用 VOC 警報機の販売

有機溶剤による健康被害から社員を守るために、日本印刷産業連合会と新コスモス電機が共同で開発した V O C 警報器を、特別価格 27,000 円（税込）で販売しています。

実際、購入してどう使えばいいのか？ 環境労務委員会では V O C 警報器の使用マニュアルのチラシを作成しました（資料 28 ページ参照）。「日本の印刷」2 月号に掲載している他、全印工連ホームページからもダウンロードできます。大きくして工場に掲げておくなどもできますので、ご活用ください。

3. 「知らなかったでは済まされない / 労働法と労働基準

岩手の印刷

法改正案」セミナーの開催

環境労務委員会では「知らなかったでは済まされない/労働法と労働基準法改正案」を今年度新たに策定し運営しています。

政府が進める働き方改革・労働基準法改正にあわせて、中小企業でも今後、社内規定の整備が必須となりますので、最新の情報を知る機会を設けるためにも、開催をご検討していただくようお願いしました。

また昨年、東北地区で開催した山形（9月22日）と宮城（11月1日）の開催状況の話をうかがった後、今年度は青森（2月23日）、三重（2月27日）、愛知（3月13日）、石川（3月19日）で開催予定であることも伝えました。

以上の依頼事項を説明しました。

【協議事項】

1. 環境マネジメントシステム認証・認定の周知・啓発について

委員の皆様にご覧いただき、特に「環境推進工場」に関して、東北地区ではゼロという現状を認識していただいているから意見等を述べていただきました。

秋田県ではアンケートを実施したところ、G P まではいかないが環境推進工場の取得を目指したいという企業が1社、検討するとして前向き回答が5社あったようですが、その後の進展はないとのこと。

宮城県では地元独自のオリジナル認証制度（正式名称は？）があり、それを取得すると、県とか市はそれなりの優位性があるようです。その影響等もあるのか、それ以上の必要性は低くなっている感じがする。

等々の意見がありましたが、これからの環境経営を推進していくためにも、環境マネジメントシステムの認証・認定の取得を目指してほしい旨を、改めてお願いいたしました。

※なお、青森県にて「環境推進工場登録」の講習会を4月9日（月）実施することを伝えたと、隣県の秋田県の委員から受講希望がありました。おそらく参加されると思われます。

2. オフセット印刷工場用VOC警報器の普及拡大について

この前項でも述べた一覧表をご覧ください、現在までの東北地区では購入数37個となっているが、そのうち今年度だけでは宮城県2個(6月)、青森県4個(12月)の計6個の購入数となっている現状を説明しました。

環境経営を推進するうえでは必要な警報器ですので、作成した使用マニュアルをよくご覧になって、VOC警報器の活用を再度お願いいたしました。

*この警報器を使用している委員より、「社員から、調べたら溶剤でもインキでも該当する成分が入ってい

ないものを使用しているのに警報器を購入する必要がないのでは？ また、そういうものしか使っていないのになぜ鳴るのでしょうか？ センサーが壊れているのでは？ など、突っ込まれて返答に困った」という意見（？）もありました。

【報告事項】

1. 平成 29 年度地域別最低賃金の改定

平成 29 年度地域別最低賃金の全国平均は 848 円と、昨年を 25 円上回っています。地域別最低賃金を下回る賃金を支払った場合には罰則の他、ハローワークや職業紹介事業所などで新卒求人情報が受け付けられなくなる（一定期間）こともありますので、気を付けていただきますよう周知しました。

その他：

第 17 回の「印刷産業環境優良工場表彰」の応募は終わりましたが、次回の際には 1 社でも多くの企業が応募されることをお願いし、周知しました。

また「モデル就業規則」改訂版がいつ頃になるのかとの質問があり、「働き方改革」など今国会で審議中の事項もあって明確には言えませんが、全印工連では年度中を目指し、データで配布する予定と返答しておきました。

官公需対策委員会

木村恵也 委員長（岩手県）

【報告事項】

1. 「大きく変わる知的財産権の取り扱い」の周知・啓発

全日本印刷工業組合と全日本印刷産業政治連盟が予てより要望していた官公需取引における著作権の適切な取り扱いについて、平成 29 年 7 月 25 日の閣議で決定された「平成 29 年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」で新たに講ずる主な措置として、「知的財産権の財産的価値について十分に留意した契約内容とするように努めるものとする」が加わりました。

この基本方針により、官公需の仕様書や契約書に「著作権を無償で譲渡する」や「無償で利用する」という記載がありましたが、無償ではダメだということになりました。

また、印刷用データ等の中間生成物も、著作権同様に財産的価値に配慮が必要です。

印刷用データの中間生成物はアナログの時代から特約が無い限り、印刷会社が所有権を持つものですが、中間生成物についてもその財産的価値が認められるということが、経済産業省・中小企業者庁作成のチラシに明記されました。

知的財産権の財産的価値に配慮するためには「知的財産権の利用範囲の特定・明確化」が必要です。これは国の基本方針ですが、各都道府県や市町村にも理解

を促すべく文書が経済産業大臣より通達されています。

また、各地方経済産業局が主催し、発注者（国の地方支分部局、地方公共団体等、及び各都道府県中小企業団体中央会とその傘下組合員）に対し、平成 29 年度官公需対策地方推進協議会を開催して、その周知を徹底しました。東北では 8 月 23 日～9 月 8 日に開催されています。

7 月 25 日のこの閣議決定を受けて、9 月 1 日と 10 月 19 日に官公需対策協議会を開き、今回の決定の中身についてのパンフレット作成に入り、12 月の完成となりました。パンフレットは組合員に配布するとともに、地方公共団体にも届け、印刷物発注担当者に官公需における知的財産権の適切な取り扱いに理解をより深めていただくよう活用していく。

2. 「大きく変わる知的財産権の取り扱い」セミナーの開催

「平成 29 年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」に新たに講じられた主な措置として、「知的財産権の財産的価値について十分に留意した契約内容とするように努めるものとする」が加わったことの内容を中心に、本セミナーを開催する。

本セミナーは、受発注者双方の官公需における著作権の理解を深め、基本方針の実効性を高めることを目的に、講師は、全印工連官公需対策協議会議長及び幹事が務め、各都道府県印刷工業組合単位で開催する。

3. 印刷会社の「著作権」セミナーの開催

平成 29 年度は、次の 6 工組で 6 回開催された。

5 月 19 日…岩手工組	6 月 23 日…福岡工組
10 月 18 日…長野工組	10 月 18 日…長崎工組
10 月 20 日…宮崎工組	10 月 27 日…新潟工組

組織・共済委員会

立花志明 委員長（福島県）

【依頼事項】

1. 平成 30 年度共済加入促進キャンペーンの推進

平成 30 年度共済加入促進キャンペーンは、例年どおり 9 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの期間に予定しています。対象となる制度も例年と同じく、生命共済、せつび共済、医療・がん共済の 3 制度です。共済 3 制度への加入促進にご協力いただけますようお願いしました。

2. 生命共済制度の更新処理

生命共済制度の更新処理に関しては例年どおりで、制度内容の変更はありません。また、加入・脱退、契約の訂正・変更等の取扱いはスケジュールに基づいて行われているため、締切日の再確認をお願いいたしました。

【協議事項】

1. 平成 30 年度共済加入促進キャンペーン地区毎の重点

工組の選定について

平成 30 年度共済キャンペーン重点工組（予定）についてご協議したところ、過去の順番に倣って「青森県・岩手県」を重点工組とすることに決まりました。

2. 共済加入促進キャンペーンの展開について（意見・情報交換）

各県の取り組みをそれぞれ発表いただき協議いたしましたが、

- ・すでに他団体で加入の共済制度がある
- ・印刷の取引で付き合いがある会社の共済制度に加入している
- ・共済制度を促進する体制ができていない（事務局任せ）

など、うまくいっていない理由が挙げられた中、「共済制度単独の取り組みではなく、組合員増強活動の際に伝えるメリットとして、組合の共済制度の魅力を伝えたらどうか」という提案がありました。

3. 組合員加入の促進について（意見・情報交換）

各県の取り組みをそれぞれ発表いただき協議いたしましたが、各県理事長の方針に違いがあり、県としてではなく、各支部単位で支部の事情も勘案して活動している県が多いようです。

【報告事項】

1. 組合員加入実績工組の表彰基準の改定

組合員加入実績工組表彰は今年度の通常総会で初めて表彰を行いました、「1 年前と比べて組合員数が増加した工組に報奨金 3 万円を贈呈する」という表彰基準に対し、昨年 8 月に行われた「平成 29 年度 第 2 回組織共済委員会」で再度報奨金の金額や表彰区分について検討を行いました。

その結果、平成 30 年度からは「組合員 1～3 社増加：3 万円、組合員 4 社以上増加：5 万円」に基づき、報奨金を贈呈することとなりました。

平成 30 年 1 月 1 日現在の全国組合員異動状況では、表彰の対象工組は、千葉県工組は報奨金 5 万円、宮城県・福島県・兵庫県各工組は報奨金 3 万円の 4 工組となります。

トピックス

第 22 回「古紙回収」 ―今年度第 3 回目の実施―
平成29年10月11日(水)

平成 29 年 10 月 11 日 (水) 15:00 から、協力事業所数 27 社が古紙回収を実施しました。
当日は、あいにくの雨で駐車場がぬかるみ、組合事務所内に 80 個ほどある古紙袋を天井近くまで積み上げました。皆様のご協力で改めて感謝申し上げます。



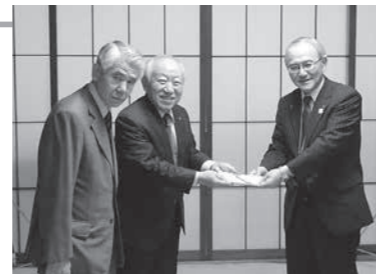
盛岡市民育樹祭に参加して「杉の枝打ち作業」を体験
平成29年10月14日(土)

平成市民の森で平成 29 年 10 月 14 日 (土) 10:00 から行われた育樹祭に 9 名が参加して、今年は森の手入れのため、杉の枝打ち作業を体験し、機械を使用するの枝打ちを見学しました。森を育てるためには何十年という長い期間、多くの手間がかかりますが、その作業を行うことで自然災害を防ぐことができ、また、良質な木材をつくることのできるのだそうです。林業について触れることができた、とても良い機会でした。



岩手県緑化推進委員会へ「古紙回収収益金」を寄付
平成29年11月8日(水)

盛岡副市長へ齋藤理事長と吉田盛岡支部長より、古紙回収の収益金 10 万円を岩手県緑化推進委員会宛てに贈呈しました。この寄付金は、県内の緑化推進のため町内会へ苗木を配布したり、子供たちにもっと、木に触れる機会をもってもらおうと、県産材を利用した木工教室などに活用されます。



国家検定(厚生労働省所管)のDTP 技能検定試験に 10 名が挑む
平成30年1月21日(日)

岩手県立産業技術短期大学校で DTP 技能検定の実技試験が実施され、また平成 30 年 2 月 4 日 (日) にはアイーナを会場に学科試験が行われました。今年受験者は 1 級が 3 名、2 級が 7 名 (実技のみ 5 名) の計 10 名でした。合格発表は 3 月 16 日 (金) です。来年度も検定試験を実施いたします。皆様のお申し込み、お待ちしております。

MUD セミナー開催
平成30年2月16日(金)

リコージャパン株式会社様のご協力により、講師 小粥将直 様 (NPO 法人 メディア・ユニバーサル・デザイン協会 理事) をお招きして MUD セミナーを、アイーナいわて県民情報センターで開催しました。参加者 40 名。

【MUD 基礎講座 実践編】と題し、経営・営業・制作の視点から考えた、MUD の基礎知識および同業者や自治体の取り組み事例について講演いただきました。耳栓を使っているグループワークは、聴覚に障害があるの方とのコミュニケーションの取り方について多くの気づきがありました。

また、講演後、リコージャパン株式会社様の MUD の取り組み事例について、多数ご紹介いただき、好評のうちに終了いたしました。

皆様からいただいたアンケート結果を参考に、来年度も引き続きセミナーを実施致します。ご参加お待ちしております。



編集後記

今年は厳しい寒さが続き降雪も非常に多く、組合事務所周辺の雪融けはなかなか進みません。まだしばらくは長靴での出勤です。
さて、今年度、東北地区印刷協議会や全工連フォーラム等に参加させていただきました。その中で、各事務局の方々と他工組での取り組みや問題点等さまざまな意見を交換することができました。参考にさせていただき、ぜひ取り入れていきたいと思っています。
また、日頃の組合活動を情報交換の場としても、より多くの組合員の皆様にご参加していただけるようにしていきたいと感じました。
あっという間に年度末 3 月となりました、至らぬ点が多々あったかと思いますが、来年度もよろしくお願いいたします。(1)

Q. クイズコーナー

「平成」の和暦とも、まもなくお別れですね。
さて今回は、その「平成」に因んだクイズをば。
今や死語と化しつつある言葉の一つに「半ドン」があります。平成生まれの人たちにとっては、「それ、なに？」の類いかも…。ハイ、ここで問題です。官公庁や学校、企業などが「半ドン」ではなく、「土曜休み」になり、岩手県で完全週休 2 日制がスタートしたのは、平成●年 8 月 1 日からでした。●に該当するのは、何年だったでしょうか。

- 送り先 / 答え、会社名、氏名をご記入のうえ当組合事務所 (当紙表紙に記載) まで FAX でご回答下さい。
- 応募締切 / 平成 30 年 5 月 7 日 (月) (当日消印有効)
- 当選発表 / 景品の発送後、ご本人の承諾を得て次号に掲載
- 個人情報は商品の発送のみに利用します。



花巻温泉入浴回数券

今回の景品

《訃報》

心よりご冥福をお祈りします

有限会社 山本印刷
代表取締役社長 山本 亨氏の

ご尊父 山本 惣吉様

平成 29 年 12 月 31 日永眠されました。
享年 94 歳。

前回の答え

前回の答えは 「3. 59 年」 でした。

組合役員による厳正なる抽選の結果、株式会社菊忠印刷 細川ひろ子さんが当選されました。おめでとうございます。

今回も素敵な賞品を準備して、たくさんの応募をお待ちしています。



TOKIWA

豊かな紙 確かなサービス

弊社は FSC® 認証紙を販売し
世界のよりよい森林管理を支援します



責任ある森林管理
のマーク

常盤洋紙株式会社

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南1丁目8-19
TEL (019) 637-2011 FAX (019) 637-2014
本社/仙台 営業所/塩釜・福島・山形・水沢
URL <http://www.tokiwa-pap.co.jp>
TOKIWA PAPER CO.,LTD.



ともに、世界へ彩りを。

パイオニアとしての実力。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
東日本支社 仙台支店 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町4-2-38 TEL 022-237-6210 <http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

LED-UV PRINTING SYSTEM



RMGTは2008年から、LED-UV印刷の市場を牽引しています。

RMGTが2008年に世界で初めて発売したLED-UV印刷システム。省電力の画期的なUV印刷システムとして革新を起こし、短納期・生産性向上・環境印刷によって、オフセット印刷の世界を様変わりさせました。発売から9年が経過した今、LED-UVの先駆者として蓄積したノウハウと技術力でRMGTはオフセット印刷に関わる、お客様の様々な課題にお応えしています。

Giving Shape to Ideas



KONICA MINOLTA

進化し続けるマルチロール
プロダクション印刷システム

AccurioPress
C2070/C2070P/C2060

- 350g/m²の厚紙対応力強化
- 高速・高品質な封筒印刷
- 最大1,200mmの長尺印刷に対応
- 高付加価値を生む多彩な後加工処理

*写真はC2070にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社 PPG営業統括部 東北グループ
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-2-25 仙台NSビル2F TEL.022-722-2265

株式会社 インキ 仙台小森

お客様の信頼をかたちにする
大正創業は信頼の証!

〒984-0015 仙台市若林区卸町2-5-8 Tel.(022)232-1591 Fax.(022)239-5874 Url.http://www.s-komorink.co.jp/

長代商店は皆様の産業廃棄物の処理に
誠意をもってお手伝い申し上げます。

*現像廃液・定着廃液及び古フィルム、廃油、洗浄液の処理を御命下下さい。

長代商店

〒028-7801 岩手県久慈市侍浜町堀切11-136-5
TEL 0194-58-3833 FAX 0194-58-3057

折込広告

毎日が新しい
コミュニケーション

株式会社 **岩手読売IS**

本社：〒020-0836 盛岡市津志田西一丁目23番8号
TEL.019-635-5866 FAX.019-635-5857
県南営業所：〒023-0001 奥州市水沢区卸町4-10
TEL.0197-25-3277 FAX.0197-24-4788
URL <http://www.iyoc.co.jp>

TOYOINKGROUP

Visible Science for Life

私たち東洋インキグループは、
『目に見えるサイエンス』で皆様の生活に貢献いたします。
www.toyoinkgroup.com

東洋インキ東北株式会社
〒981-3206 宮城県仙台市泉区明通3丁目27 Tel: 022-378-5131

KODAK

お客様の経営パートナーに

コダックジャパン <http://www.kodak.co.jp>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285
〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1-6-5 TEL.050-3819-1255

情報文化のパートナー
社会に貢献出来る会社を目指して

株式会社 黄海製本

代表取締役社長 柴田政夫

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町1丁目1-48
TEL022(235)5004(代) FAX(236)9206

良い品を迅速に
お届けいたします

株式会社 佐々木紙店

奥州市水沢区龍ヶ馬場1-1 TEL 0197(24)6566(代表)
FAX 0197(24)6568
パッケージプラザササキ TEL 0197(23)4321(袋町店)

PESP
プリントエンジニアリングサービスプロバイダー

KOMORI はお客様の課題を解決するための
多種多様な提案を積極的に行い、
信頼される
「プリントエンジニアリングサービスプロバイダー」
となることを目指し、
お客様とともに進化しつづけます。

株式会社 小森コーポレーション
東北営業所 〒984-0822 宮城県仙台市若林区かすみ町8-54 TEL.022-282-8851

Offset Digital
K-Supply Postpress

KOMORI

成長のギアチェンジ
Future to be Fact.
未来を事実に変えていく

フィニッシングソリューション
KBD MOLLシステム NEW
FOLDER/GLUER/INSERTING/TAPING

株式会社 光文堂 東北支店
〒984-0003 仙台市若林区六丁の目北町4番50号
TEL.022-287-3711 FAX.022-287-3710
本店/〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL.052(331)4111(代)
支社/東京 支店/東北・静岡・大阪・北九州・福岡 営業所/北海道・青森・山形
千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・金沢・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄
<http://www.kobundo.co.jp>

SCREEN

ACHIEVE THE EXTRAORDINARY
IN PRINT

SCREEN **GP13**
EQUIOS
ART & UX

株式会社 **メディアテクノロジー ジャパン** 東北営業所/022(224)1741
〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉一丁目5-15 日本生命仙台勾当台南ビル3階

— 地域の皆様と共に歩んで370年 —
時代のニーズにお応えして

“今日と明日を結ぶ”

事務用品
OA 機器
オフィス家具
和洋紙

KIZYA 木津屋本店

盛岡市南大通2丁目3番20号
電話 ■ 盛岡019(638)4337代表

世界を変えるアイデアは
一枚の紙から生まれる。

株式会社 赤澤紙業

本社 盛岡市みたち二丁目22番50号 ☎019-641-1081
支店 仙台市若林区卸町二丁目12番11号 ☎022-235-4251

FSC
www.fsc.org
FSC® A000523
責任ある森林管理のマーク



電子情報配信サービス

モリサワ

MC Catalog+



あらゆる印刷物をスマートデバイスへ
簡単・効果的に配信

カタログやチラシ、パンフレットなど、あらゆる印刷物をスマートフォンやタブレット端末に向けて手軽に配信できるクラウドサービス。印刷データをそのままアップロードするだけで、読者が見たい情報をタイムリーに届けることができます。

<http://www.morisawa.co.jp>

印刷加工のエキスパートを目指します

株式会社 オリエントコーティング

〒984-0002 仙台市若林区卸町東二丁目1番30号
TEL(022)788-2960(代) **オンデマンド印刷のPP貼も出来ます**
FAX(022)788-2965 **4/6半載ハイデル自動抜機設備しました**
E-mail:orient-c@abelia.ocn.ne.jp

【営業品目】

- PP貼(ツヤ・マット)・ホログラム
- 断裁・仕上げ・スジ押加工・角丸仕上げ
- 貼適用フィルム
- 圧着加工
- 下敷加工(硬質塩ビ・硬質PET)
- PPによる圧着(2つ折・Z折)
- 断裁・角丸仕上げ
- のりによる圧着(2つ折・Z折・6巻折・2折×3折)
- パウチ加工
- 折加工
- レストランメニュー・メニュー製本
- 特殊折(両観音折・ジャバラ12山谷・経本折)
- 裏スリット
- ※その他特殊折できます。
- タック紙のセパレータにスリット加工・タック紙販売
- 型抜加工 ハイデル4/6半載全自動抜・ピク抜

<http://www.yoshikawa.co.jp>

『紙+α』の未来を考える。

吉川紙商事株式会社

仙台支店 〒980-0014
仙台市青葉区本町2-10-28 カメイ仙台グリーンシティ6階
TEL 022-264-8971 FAX 022-264-8973

FUJIFILM

Value from Innovation



つねにお客さまのそばに。

私たちは、幅広い知識と製品ラインアップで、
お客さまのさまざまなご要望に的確にお応えします。

FFGSグラフィックサプライ株式会社

盛岡営業所

〒020-0811 岩手県盛岡市川目町23番地4号

TEL:019-623-2100 FAX:019-623-2150

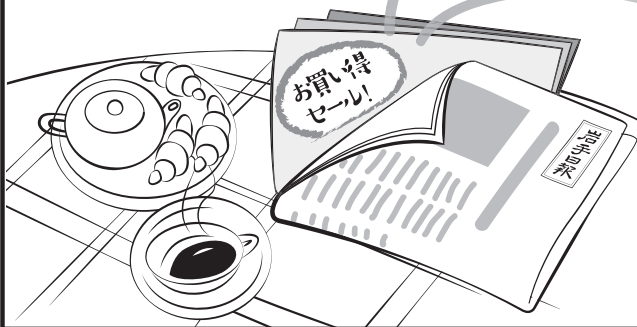
FFGSグラフィックサプライ 🔍 検索

折込広告は、暮らしに役立つ
身近な生活情報を
お届けしています!

おはようございます!

詳しくはネットで

岩手日報アド・ブランチ 🔍



岩手日報折込センター・各種広告取り扱い

岩手日報アド・ブランチ株式会社

代表取締役社長 湯田 保道

本社 盛岡市みたち1-6-40 ☎019(641)6711-FAX(641)6154

県南センター 花巻市西宮野目12-62-9 ☎0198(30)1919-FAX(26)3685

にのへセンター 二戸市福岡字八幡下18-4 ☎0195(22)1122-FAX(23)4499

株式会社

田澤洋紙店

本店 ■ 〒020-0816 盛岡市中野二丁目15番8号 TEL019(624)3355(代)

FAX019(622)7655

八戸営業所 ■ 〒031-0071 八戸市沼館一丁目20番9号 TEL0178(45)4561(代)

FAX0178(43)7501